

令和2年度 男女共同参画計画（第4次）の進行管理について

資料2-1

男女共同参画計画（第4次）事業評価について

■ 1次評価について

1次評価総括表

基準 評価 基本目標	十分な成果を上げた (達成度8割以上) A評価	ある程度の成果を上げた (達成度3割以上8割未満) B評価	事業の見直しが必要 (達成度3割未満) C評価	実施しなかった —	計
I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	47	17	1	11	76
II あらゆる分野で男女が共に参画できる制度・条件づくり	20	10	0	2	32
III 誰もが仕事と生活の調和のとれた社会づくり	25	11	2	2	40
IV 誰もが自立し、安心して暮らせる生活環境づくり	19	5	1	12	37
V 計画を積極的に進める体制づくり	10	4	0	1	15
計	121	47	4	28	200



■ 2次評価（案）について

2次評価（案）総括表

基準 評価 基本目標	十分な成果を上げた (達成度8割以上) A評価	ある程度の成果を上げた (達成度3割以上8割未満) B評価	事業の見直しが必要 (達成度3割未満) C評価	実施しなかった —	計
I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	49	11	0	16	76
II あらゆる分野で男女が共に参画できる制度・条件づくり	24	5	0	3	32
III 誰もが仕事と生活の調和のとれた社会づくり	28	8	1	3	40
IV 誰もが自立し、安心して暮らせる生活環境づくり	20	4	0	13	37
V 計画を積極的に進める体制づくり	11	3	0	1	15
計	132	31	1	36	200
(1次評価からの増減)	+11	-16	-3	+8	

事業担当各課が行った1次評価の結果、A評価が121事業、B評価が47事業、C評価が4事業、実施しなかったが28事業となりました。2次評価では、1次評価がB以下の事業について再評価を行うこととしており、地方創生推進課にて必要に応じて事業担当課から聞き取り等を行い2次評価（案）を作成しました。その中で、上方修正した評価は11事業あり、主に令和2年度事業計画に沿った取組が行われており、その効果が広がる兆しの見えた事業等について評価を上げました。（B評価からA評価、11事業）

一方で、新型コロナウイルス感染症により事業実施が困難であった8事業については、B評価又はC評価から「実施しなかった」と評価を変更しました。（B評価から実施しなかった、5事業。C評価から実施しなかった、3事業）

令和2年度 事業評価表総合評価（案）

男女共同参画計画（第4次）事業評価について

■総合評価について

総合評価総括表

基準 評価 基本目標	十分な成果を上げた （達成度8割以上） A評価	ある程度の成果を上げた （達成度3割以上8割未満） B評価	事業の見直しが必要 （達成度3割未満） C評価	実施しなかった —	計
I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	49	11	0	16	76
II あらゆる分野で男女が共に参画できる制度・条件づくり	24	5	0	3	32
III 誰もが仕事と生活の調和のとれた社会づくり	28	8	1	3	40
IV 誰もが自立し、安心して暮らせる生活環境づくり	20	4	0	13	37
V 計画を積極的に進める体制づくり	11	3	0	1	15
計	132	31	1	36	200